



槻橋城（白山市指定史跡）



主郭と尾根を遮断する
大きな堀切



月橋集落から見る御蔵山



槻橋城登城口



所在地：石川県白山市月橋町

立地：丘陵頂部、標高225m

城主：槻橋氏、一向一揆

時期：室町、戦国

見学時間（参考）：30分～1時間

「蔵山郷土誌」によると、城跡から炭化米が出土したことから米貯蔵の蔵があったという伝承があり、御蔵山（おくらやま）と呼ぶようになったとも、槻橋城で三位という家老が富樫氏の兵糧を保管していたので御蔵山と呼ぶようになったとも伝える。

その御蔵山山頂に槻橋城は築かれている。月橋を拠点とする槻橋氏の居城とされ、加賀国守護職富樫氏の有力家臣であった。「官地論」によると、長享2年（1488）の長享一揆のとき、高尾城額口合戦で討死した武將に槻橋弥次郎の名が見え、高尾城で富樫政親と自刃をとともにした30名余りの武將の中に槻橋豊前守、槻橋三郎左衛門、槻橋近江守（重能）、槻橋式部丞、槻橋弥六、槻橋三位房と槻橋一族の名が見られる。

天正8年（1580）には織田方の柴田勝家・佐久間盛政らにより槻橋城に籠る一向一揆が敗退したという（山崎長門家臣軍功書など）。

主郭から手取川下流の集落や鶴来街道を広く見渡せる。今から20年ほど前までは見えたようだが、今は植林の杉が育ちほぼ見えない。



土塁が巡る主郭



主郭付近の案内板

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）
〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
E-MAIL. contact@j-sampo.com
ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>